

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

- 本体(外側・内側)**

ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキンに含ませて洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。
- キャップユニット・コップ・中栓**

キャップユニット・コップ・中栓は丸洗いでできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。
- パッキン**

パッキンをキャップユニット・中栓から取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分をふき取ってください。
- ハンディポーチ**

水または30℃以下のぬるま湯で軽く手洗いして、十分に乾燥させてください。

⚠️ お手入れ上の注意

- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体、キャップユニット、コップ・中栓の煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 本体、キャップユニット、コップ・中栓の浸け置き洗いなどはしないでください。
- キャップユニット、コップ・中栓を本体に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。
- アルカリ性洗剤またはオレンジオイル系の洗浄は図柄剥離、変色する場合がありますので、ご使用はさけてください。

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には...

- サビのような赤い斑点ができた場合**

水分に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。
食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。
- ザラザラしたものが付着した場合**

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、キャップユニットを取り付けず、3時間程放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

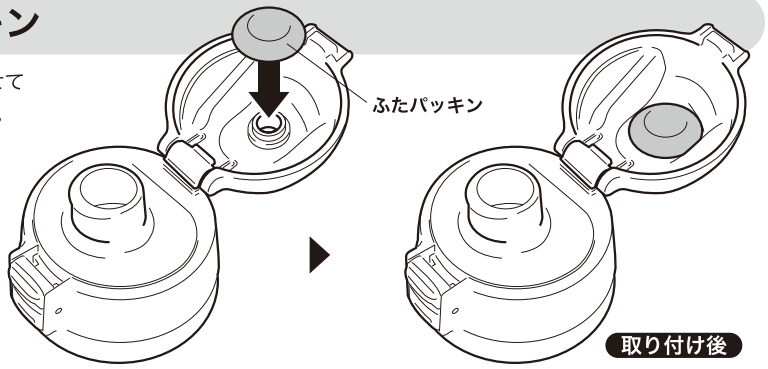
パッキンの取り付け方 **注意**

パッキン位置、形状がことなる場合がございます。
現物の確認をお願いします。

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。
お手入れなどで、キャップ本体パッキンや中栓パッキンを取りはずしたあとは、正しく取り付けてください。

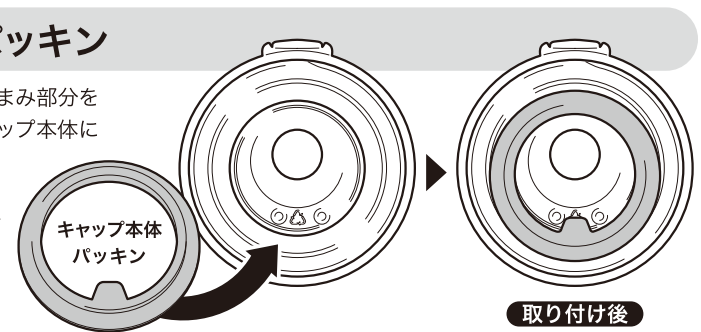
ふたパッキン

凸凹の位置を合わせて取り付けてください。



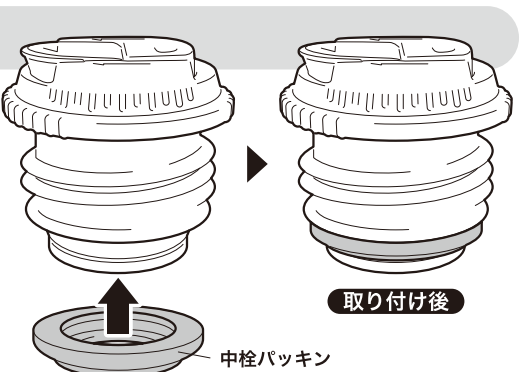
キャップ本体パッキン

キャップ本体パッキンのつまみ部分を飲み口の反対側にしてキャップ本体にはめ込んでください。
指で押し、浮き上がっている部分がないことを確認してください。



中栓パッキン

中栓パッキンの平らな面を上にして、図の位置の全周にわたって、はめ込んでください。



●パッキンは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>



こんなときは

次の項目に対して点検をおこなってください。いずれの項目にもあてはまらない場合は、お買い上げの販売店、またはお問い合わせ先までご連絡ください。

症 状	点検箇所	対処方法
キャップユニット・中栓から漏れた。	中栓が確実に閉まっていますか？	中栓を確実に閉めてください。
	キャップユニットが確実に閉まっていますか？	キャップユニットを確実に閉めてください。
	飲みものを入れすぎていませんか？	飲みものの量を減らしてください。
	パッキンが正しく取り付けられていますか？	それぞれ正しい位置に正しくパッキンを取り付けてください。
	キャップユニット・中栓が破損、消耗していませんか？	別売の交換用部品がございます。 お買い上げの販売店またはお問い合わせ先までご連絡ください。
保温(保冷)効力が弱い。	中栓の内側に少量の内容物が残っていませんか？	注ぎ終わったら本体を立てた状態で中栓 CLOSE 部を押してください。 注ぎ口を下に向け残った飲みものを出してください。
	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れていますか？	熱い(冷たい)飲みものを入れてください。 予熱(予冷)をすると効果的です。
ボトル内側にサビのような赤い斑点やザラザラしたものが付着した場合。	飲みものの量が少なすぎませんか？	飲みものの量を増やしてください。
	サビのような赤い斑点が出来た場合。	水に含まれる鉄分などが付着したものです。 食酢をご使用ください。[☞P.6]
	ザラザラしたものが付着した場合。	水に含まれるカルシウムが付着したものです。 クエン酸をご使用ください。[☞P.6]

製品仕様

品質表示			材料の種類	
601	実 容 量	コップ・中栓使用時／0.62L キャップユニット使用時／0.67L	本 体	内びん／ステンレス鋼 胴 部／ステンレス鋼 (アクリル樹脂塗装) 口 金／ステンレス鋼
	保温効力	コップ・中栓使用時／69℃以上(6時間)		
	保冷効力	キャップユニット使用時／8℃以下(6時間)		
801	実 容 量	コップ・中栓使用時／0.81L キャップユニット使用時／0.85L	キャップユニット	ポリプロピレン
	保温効力	コップ・中栓使用時／72℃以上(6時間)	コップ	ポリプロピレン
	保冷効力	キャップユニット使用時／7℃以下(6時間)	中栓	ポリプロピレン
			パッキン	シリコーンゴム
			ハンディポーチ	外生地／ポリエステル 内生地／ポリエステル クッション／発泡ポリエチレン 肩掛ベルト／ポリプロピレン
MADE IN CHINA				

*保温効力とは、室温20℃±2℃において製品に熱湯を中栓の下端まで入れ、湯温が95℃±1℃になったとき、コップ・中栓をして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその湯の温度です。
*保冷効力とは、室温20℃±2℃において製品に冷水をキャップユニットの下端まで入れ、水温が4℃±1℃になったとき、キャップユニットをして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその水の温度です。
*実容量とは、中栓・キャップユニットまでの全容量です。ご使用の際は取扱説明書をご確認のうえ、適切な量を入れてご使用ください。

表示者 株式会社アトラス
〒192-0046 東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
<http://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ TEL.042-660-8870
受付時間／9:00～18:00
月～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。

取扱説明書

2way!ステンレスボトル

ANWシリーズ

このたびは、当社のステンレスボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

●各部のなまえ

キャップユニット

保冷専用

ふた

ふたパッキン

飲み口

安全ロック

プッシュボタン

キャップ本体

キャップ本体パッキン

コップ・中栓

保温 保冷

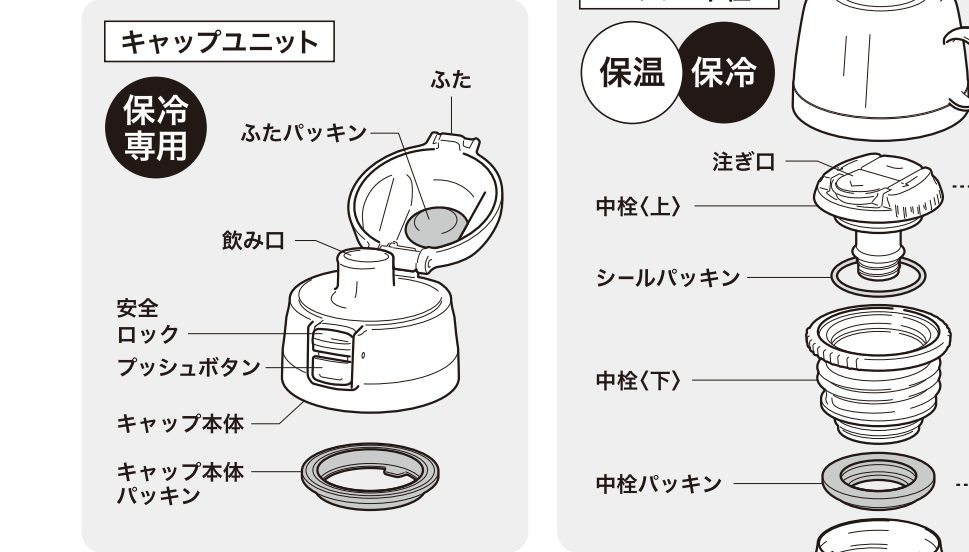
注ぎ口

中栓<上>

シールパッキン

中栓<下>

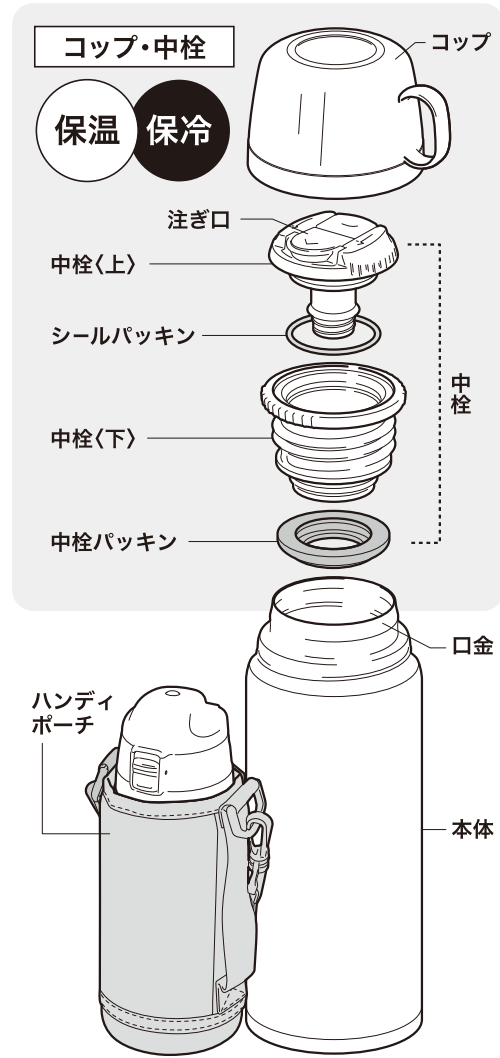
中栓パッキン



ご使用の前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、キャップユニット、コップ・中栓のひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールは、はがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、本体内側・キャップユニット・コップ・中栓を食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

※説明中のイラストは実際のもものと異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。



⚠ ご使用上の注意

⚠ 警告

キャップユニットのご使用时 〔保冷専用〕

●保冷専用です。熱いものは絶対に入れないでください。(やけどの原因になります。)

コップ・中栓のご使用时 〔保温・保冷両用〕

- 直接飲まずに、必ずコップを使用してください。(やけどやものを汚す原因になります。)
- 傾けた状態、または顔を近づけた状態で注ぎ口を開けないでください。
内圧が上がり、飲みものが急激に出たり、飛散したりしてやけどの原因になり危険です。
- 熱いものを入れた直後は本体を振らないでください。
(内圧が上がり、内容物が噴き出るおそれがあります。)

⚠ 注意

●乳幼児の手の届くところには置かないでください。
やけどの原因となります。

●飲みものの保温・保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。
●熱い飲みものを入れて本体外側が熱くなったり、冷たい飲みものを入れて結露する場合は、構造上不具合のある可能性がありますので使用しないでください。

●肩掛ベルトは首からかけずに、肩から斜めがけしてください。

●肩掛ベルトを持って振り回さないでください。
破損や事故の原因になります。また過度の荷重がかかる
肩掛ベルトがはずれるおそれがありますので、絶対におこなわないでください。

●肩掛ベルトをかけた状態で運動したり遊んだりしないでください。

●熱い飲みものを入れた場合、次の点を必ずお守りください。

- 熱い飲みものを入れても本体外側は断熱効果により熱くはなりません。
熱くなる場合は使用しないでください。
- 本体を急に傾けないでゆっくりとコップに注いでください。
急に傾けると、飲みものが勢いよく出てやけどなどの原因になり危険です。

●キャップユニット、コップ・中栓を必ずはずしてから飲みものを入れてください。
コップ・中栓を付けたまま熱い飲みものを入れると、飲みものが飛散してやけどの原因になり危険です。

●飲みものの量は、取扱説明書4・5ページ図の図を参考にしてください。
入れすぎるとキャップユニットやコップ・中栓が開かなくなったり、閉めたときに飲みものが
溢れ出す原因になります。また、使用中に漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

●大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。
キズや溢れる原因となります。

●キャップ本体パッキン、中栓パッキンが正しく取り付けられていることを
取扱説明書7ページの図を参考に確認してご使用ください。
飲みものが漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。
キャップ本体パッキン、中栓パッキンの取りはずしの際には紛失及び未装着に注意してください。

●キャップユニット、中栓を閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
飲みものが溢れ出す原因になります。また、漏れて、やけどやものを汚す原因になり危険です。

●キャップユニット、中栓が確実に閉まっていることを確認してください。
閉め方が不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

●ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形・変色の原因になります。

●電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

●本体の口金に熱いやかんなどをあてないでください。
口金の変形・キズ、転倒してやけどなどの原因となり危険です。

●冷凍庫には入れないでください。

●飲み終わったら、本体を立て、キャップユニット(コップ・中栓)を確実に閉めてください。
安全ロック・中栓注ぎ口を確実に閉め、本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。

●飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

●製品の構造上、湿度が高いときにキャップユニット・コップ・中栓に
水滴がつく場合があります。ご注意ください。

●次のものは絶対に入れないでください。

- アルコール類
- ドライアイス・炭酸飲料水
内圧が上がり、キャップユニット、コップ・中栓が開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、
キャップユニット、コップ・中栓が破損して飛散することがあり危険です。
- 牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが
発生して内圧が上がり、キャップユニット、コップ・中栓が開かなくなったり、飲みものが噴き出
たり、キャップユニット、コップ・中栓が破損して飛散することがあり危険です。
- お茶の葉・果肉
すきまなどにつまり、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

●においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、
品質上問題はありません。
6ページのお手入れの方法に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

●飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。

成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して
内圧が上がり、キャップユニット、コップ・中栓が開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、キャ
ップユニット、コップ・中栓が破損して飛散することがあり危険です。

●お茶などは早めにお飲みください。
長時間保存するとお茶の色や味が変わります。

●落したり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。またキャップユニット、コップ・中栓の破損原因になります。

●改造・修理・分解は絶対にしないでください。
破損、事故の原因となり危険です。

●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。
万一の漏れを防ぎます。

●パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

●持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。
持ち運ぶ際は、ふた・コップをきちんと閉め、キャップユニット、コップ部分を持って運ばないでください。

●運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫に
なり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してから
ご使用ください。強度や固定が不十分ですと破損したり、はずれて落下のおそれがあり危険です。

●使用により本体の塗装は徐々に劣化するおそれがあります。

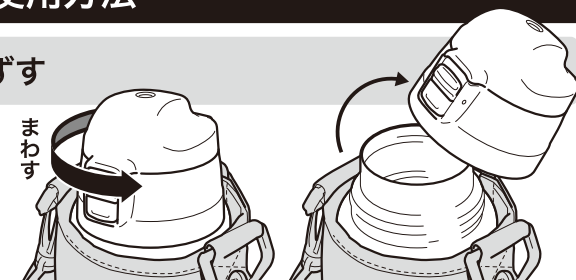
ご使用方法 〔ご使用の前に〕

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

キャップユニットのご使用方法

1 キャップユニットをはずす

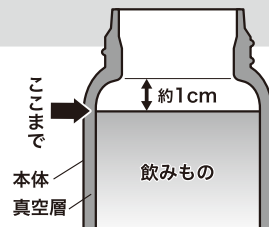
キャップユニットを太矢印の方向へ
まわしてはずしてください。



2 飲みものを入れる

飲みものの量は、右図➡部までにしてください。入れすぎると
キャップユニットを閉めたときに中身が溢れる場合があります。
入れすぎた場合は、減らしてからキャップユニットを閉めてください。

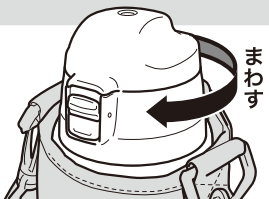
※あらかじめ、本体に少量の冷水を入れ、1分程度置き、予冷してから入れ替えると保冷に
効果的です。



3 キャップユニットを閉める

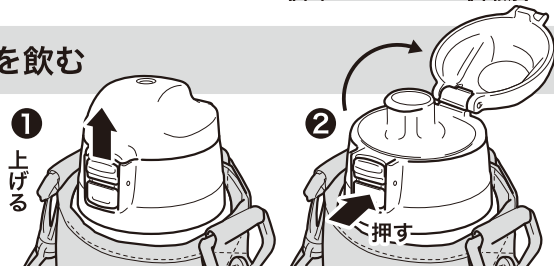
キャップユニットを矢印の方向へまわして閉めてください。

※キャップユニットが開きにくくなった場合は、必ず本体を立てた状態で布
(タオルなど)をあてて、ゆっくりと開けてください。



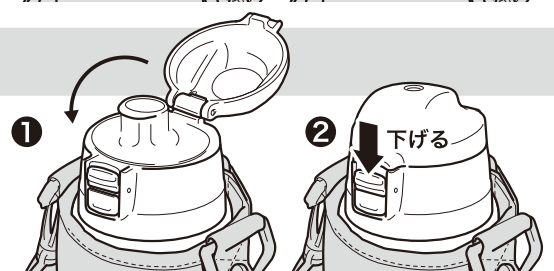
4 ふたを開けて飲みものを飲む

- ①本体を立てた状態で安全ロックを
上げてください。
- ②プッシュボタンを押してふたを開け、
ゆっくり傾けながら飲みものを飲
んでください。



5 飲み終わったら

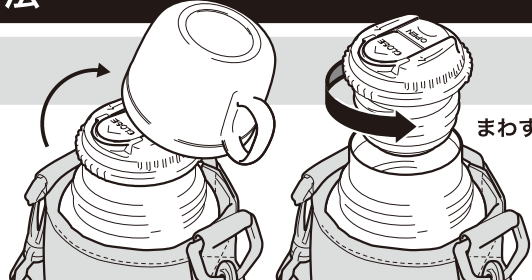
- ①飲み終わったら、本体を立てふたを
閉めてください。
- ②安全ロックを下げて、ロックしてく
ださい。



コップ・中栓のご使用方法

1 コップ・中栓をはずす

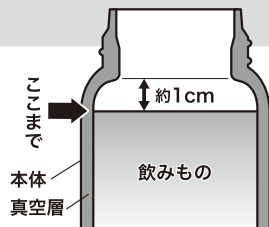
コップ・中栓を太矢印の方向へまわし
てはずしてください。



2 飲みものを入れる

飲みものの量は、右図➡部までにしてください。
入れすぎると中栓を閉めたときに中身が溢れる場合があります。
入れすぎた場合は、減らしてから中栓を閉めてください。

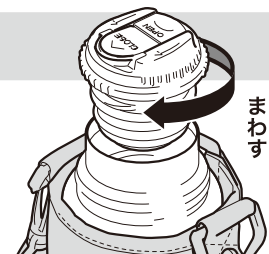
※あらかじめ、本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度置き、予熱(予冷)してから入れ替える
と保温(保冷)に効果的です。
※熱い飲みものを入れた直後は、数十秒置いてからコップ・中栓を取り付けてください。



3 中栓を閉める

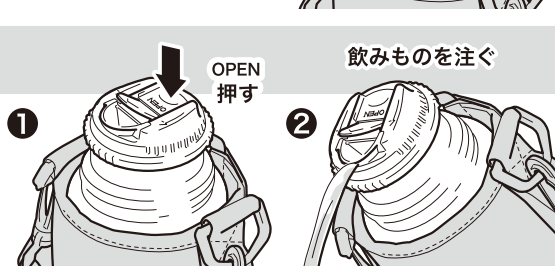
中栓を矢印の方向へまわして閉めてください。

※熱い飲みものを入れた場合、噴き出ることがあります。絶対に振るなどしないでください。
※中栓のOPEN・CLOSE部分が押しにくい場合は、やけどに十分注意して必ず本体を立てた
状態で布(タオルなど)をあてて、ゆっくりと開けてください。



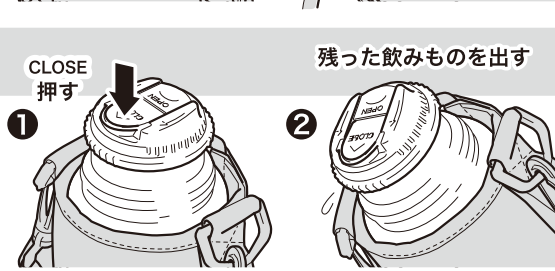
4 飲みものを飲む

- ①中栓のOPEN部分を押し注ぎ口
を開いてください。
- ②ゆっくり傾けながら飲みものを注
いでください。



5 飲み終わったら

- ①飲み終わったら、中栓のCLOSE部
分を押して注ぎ口を閉めてください。
- ②閉まっている状態で数秒本体を立
ててから注ぎ口を下に向け、残った
飲みものを出してください。



※中栓内部に飲みものが残る場合があります。